



相曽賢一朗 [ヴァイオリン]

Ken Aiso / Violin

ロサンゼルスを拠点にソロ、オーケストラ、室内楽で活躍する国際的ヴァイオリニスト。“知性と鋭敏な様式感、説得力のある音楽性に溢れ、格調高い、品格のある音楽。絹擦れの音を想わせる繊細にして精妙なトーン”と音楽各誌より評される。藝高、東京藝大を経て、文化庁芸術家在外研修員として渡英。ロンドン大学より音楽修士号を取得し、英国王立音楽院を首席で卒業。ロン＝ティボー国際コンクール、日本国際音楽コンクール入賞。英国王立音楽院アソシエイト称号 (ARAM)、下総統一音楽賞。スコットランド室内管、ロンドン・フィル、ハレ管では首席奏者として演奏。古楽器では、エイジ・オブ・エンライトメント管、オルケストル・レヴオリュショネル・エ・ロマンティックに長年在籍し、首席奏者を務める。クラシックの枠を超えた活動は、中村明一(尺八)、金森江仙(書家)とのコラボの他、イギリスで「音楽＝瞑想＝ヒーリング」のサウンドネス・フェスティバル、小学生との創作コンサートなどがあり、世界各国で障害を持つ子どもたちの施設や病院での音楽による癒しの活動も積極的に行っている。世界各地で演奏し、特にジョージア国とは深い絆を築く。現在ローヨラ・マリーモント大学、ラ・シエラ大学非常勤講師。モンテシート国際音楽祭弦楽主任講師。ヴァイオリンを川田敦子、石井啓一郎、石井志都子、海野義雄、澤和樹、田中千香士、エドワード・シュミダー、エリック・グルンベルクの各氏に師事。ギトリス、クレッパース、A・シュターン、ヘンデル、リッチの各氏からも教えるを受ける。日本では1997年より毎年リサイタルを開催。



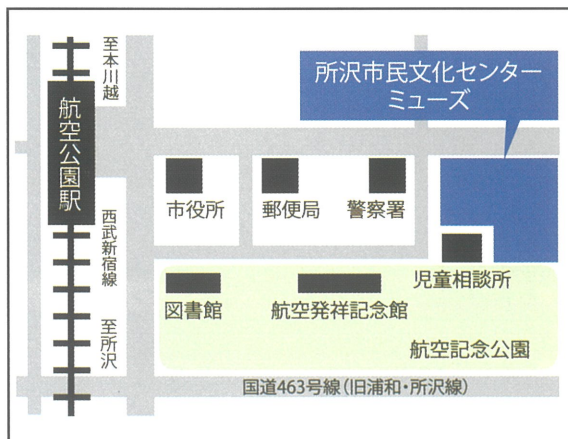
佐藤彦大 [ピアノ]

Hiroo Sato / Piano

東京音楽大学大学院鍵盤楽器研究領域(ピアノ・エクセレンス)修了、ベルリン芸術大学及びチャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院において更なる研鑽を積む。第58回全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会第1位、第1回野島稔・よこすかピアノコンクール第1位、第76回日本音楽コンクール第1位、第4回仙台国際音楽コンクール第3位、第5回サン・ニコラ・ディ・バーリ国際ピアノコンクール第1位(イタリア)、第21回リカルド・ビニェス国際ピアノコンクール第2位(スペイン)、第36回霧島国際音楽祭賞受賞、第62回マリア・カナルス・バルセロナ国際音楽コンクール第1位受賞。これまでに東京交響楽団、日本フィル、仙台フィル、京都市響、仙台フィル、ビルバオ響、セビーリャ王立響等、国内外の主要オーケストラと共演。室内楽ではNHK交響楽団首席メンバーをはじめ、国内外の名手と共演を重ねている。東京オペラシティ主催「B→C」に出演。NHK-FM「名曲リサイタル」「リサイタル・ノヴァ」にも出演。日本各地をはじめ、ヨーロッパ各地で演奏活動を行っている。CDは「Hiroo Sato plays 3 Sonatas」、「Hiroo Sato Piano Recital」(レコード芸術誌準特選盤)、「Japonisme 菅井知延子作品集」、「Japonisme II 菅井知延子作品集」の4枚のアルバムをリリース。また、コロナ禍の2020年に「佐藤彦大アンコールピース集」を自主制作した。現在、東京音楽大学専任講師、桐朋学園大学非常勤講師。ピティナ・ピアノコンペティション、全日本学生音楽コンクール審査員。全日本ピアノ指導者協会正会員。

Access

所沢市民文化センターミュージーズ



埼玉県所沢市並木 1-9-1

西武新宿線「航空公園」駅東口より徒歩 10 分 / バス 3 分

ルーテル市ヶ谷ホール



東京都新宿区市谷砂土原町1-1

JR・都営地下鉄線「市ヶ谷」駅下車徒歩約7分

東京メトロ「市ヶ谷」駅下車5・6番出口 徒歩約3分